

住民参画の仕組み

ランニングコストの低減による維持管理の低減による持続可能性の向上
より多くの住民が参加できる仕組み（プラットフォーム）づくり、中間支援組織の必要性
環境や動植物の学習の場としての機能
オーナー意識、エンゲージメントの向上
マルシェ出店料、ドッグランの使用料などによる収益事業の創設

コミュニティ・（カフェ）

飲食や休憩ができる基本的なカフェ機能
地域コミュニティの活動を支える機能
住民参画をサポートする機能
図書館との連動を考慮した配置を考える
大きな箱物施設整備は望まない
（キオスクやキッチンカーも選択肢）

樹木（高木・低木）

高木：健全性を保ちリスクと費用の低減
日陰の確保、日射を遮るシェルター機能
低木・茂み：視界を確保し安全を担保
樹木管理のルール化、管理コストの削減
次世代に継承可能な緑の資産を守る
四季折々の楽しみの提供

駐車場

障がい者など多様な人の利用を可能に
広域からの利用を可能に
スポーツ、マルシェ利用などの利便性向上
歩行者、利用者の安全確保に十分留意
台数は最小限で、原則的に園外で整備

安全・安心

日常的な清掃や維持管理（遊具等）の徹底（施設・設備）
防犯の視点によるデザインと管理、視線の確保、自然な監視、照明の増設など夜間の安全性の向上（防犯）
駐車場への車動線と人の動線の分離、園内の自転車動線と歩行者動線の分離（交通）
地面の段差、樹木の根上りなどのハザードの撤去、転倒事故の防止（バリアフリー）
きれいなトイレ、明るいトイレ、日常的な管理の行き届いたトイレ（施設・衛生）